



人間系コロキウム

第 5 6 回

2019年

10月9日(水)

12:15~13:15

文科系修士棟
8B210

学群生、大学院の学生
および一般の方の参加も
歓迎します

お問い合わせ

人間エリア支援室研究支援係

✉ ningen-kenkyu@un.tsukuba.ac.jp

筑波大学 人間系コロキウム

自閉スペクトラム症児に対する模倣 を基軸とした言語発達支援と評価

講師：筑波大学人間系障害科学域

石塚祐香特任助教

米国疾病予防管理センターの最新データによると、自閉スペクトラム症（Autism Spectrum Disorder: ASD）児は59人に1人の割合であり、10年前よりも2倍以上の増加傾向にある（CDC, 2018）。さらにそのうち約半数以上のASD児は言語の発達に遅れがみられる（e.g., Carlsson et al., 2013; Rose, Trembath, & Paynter, 2016）。応用行動分析学に基づく言語発達支援は、「話す」「読む」など多様な言語行動の成立と拡張を目指してきた。様々な言語行動を促すには、大人（セラピスト・保護者）と子どもの「相互作用（reciprocal interaction）」を成立させることが必要不可欠である。しかし相互作用が成立するまでのプロセスや、ASD児が相互作用の中で言語を獲得するための条件は十分に明らかになっていない。相互作用の成立の基盤にあるのは「模倣（imitation）」であり、定型発達児に限らずASD児の相互作用を促進すると考えられている。本発表では、ASD児に対する模倣を基軸とした言語発達支援に関する研究を紹介し、模倣が発達の基盤になることを報告する。

Education
Psychology
Disability Sciences